

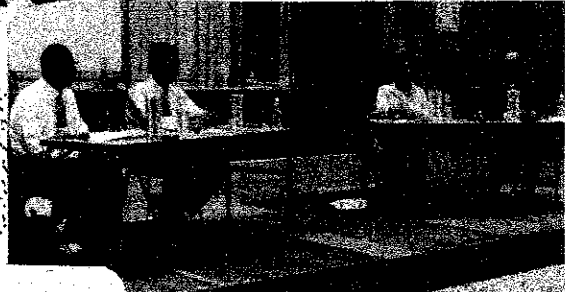
—第10回全国まちづくり交流会の宮城・大崎鳴子温泉— (平成24年9月28日～30日・宮城県東鳴子温泉にて)

第11回は25年6月遠州森町での開催決定!!



「森の石松ぶ有名な遠州森町で会いましょう」とあいつする次回開催地の「めだかの学校」の生徒たち。

歴代開催地の世話役の人たち。あいつは豊田市足助の佐久間さん。



↑10回レディスアクションのハネラーのみなさん
←被災地で片割に橋を失ったボランティアの人たち
笑顔で交流を楽しみ各地のまちづくり関係者



宮城県東鳴子温泉の「まちづくり交流会」に15名のめだか生か参加!
昨年の3月11日に東日本を襲った大震災。多くの人が「絆」を相言葉に今も支援・応援をしています。このようなときに、全国のまちづくりの仲間が、「被災地で『全国まちづくり交流会』を開催せよ」と、被災された方々と、全面的に引受けらる東鳴子温泉で開催される運びとなりました。「めだかの学校」からは、15名の生徒が参加。「台風が遠州地方を直撃の予報もあり、台風の来る前に帰ろう」と、あめただしい3日間でしたが、まちづくりに熱い思いを傾ける全国の仲間や、被災された方々の心情に、少しだけでも身を寄せることができたことはかけがえのないことです。来年の6月は私たちの出番です。今の思いを引き継ぎ、夢に向かって... (バウ)

めだかの学校だより

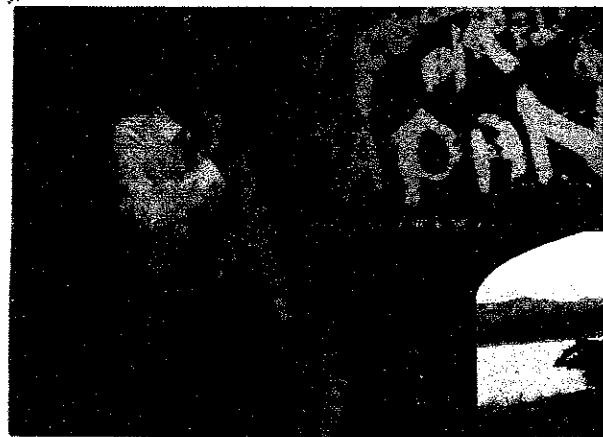
平成24年11月1日
特別号発行

学舎: 東久留女木新田観音山
「みどりの郷キャンプ場」内
事務局: 静岡県磐田市
家田 529-20
TEL0539-62-6691

『自然』との関わり～ 何を感か何を語る? =



「大震災後・まちづくりの行方」＝
最知名な以(役場取員), 坂下清子さん
さん(大沼旅館主(実行委員長))



基調講演「鳴子温泉と東日本
震災を感かたこと」ロバート・キヤナル
さん(教教授)。被災地の思いを語る。

「いほどかん没の
川の防衛も役にた
たず無惨にのこる。」



津波の跡地は今も? 私の家は家族は...
被災地と視察し、ワネリストのお話しの胸の内は

高台の小学校は前と後ろから津波が...



何を話しているの... ~
顔鏡 - マカと叔友マカ



「達かん踊らないの?! タイエトにいのよ」

「私たちは立ち上がりました!」と。

参加
ひとこと
めだか生の

● 地域づくりは「人との絆づくり」。遠くても想いは届く。だから声をかけよう、出会い話そう、小さくとも自分の一歩を踏み出そう。大きすぎる傷みを抱えた東北の皆さんから、沢山の気づきを頂いた。
(水島加寿代)

● 津波の影響がまだに残る宮城県で、まちづくりの会議が開催されたことに心から感動しています。学びから地域が復興すること、再び笑いと笑顔が戻ることを信じています。(杉谷知也)

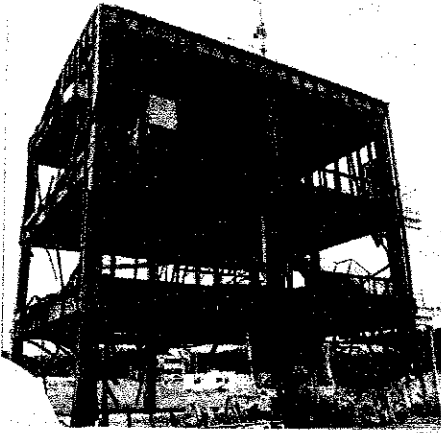
● 被災地を目の当たりにし、テレビや新聞ではわからない被害の甚大さと被災地の大変さを実感。交流会では懐かしい仲間にお会いでき、みんなでメダカのPRも、来年の森町での交流会が楽しみです。
(鈴木正士)

● 全国まちづくり交流会へ当めたかの学校から15名が参加、優良運転手付バスに揺られ鳴子温泉に行ってきた。全国から集まった人で楽しい交流会であったが台風襲来のため早々切り上げ宿にて仮眠、夜中の午前1時に出発し午後3時頃無事帰宅した。(田村進治)

● 初めての参加でしたが、全国には変わった情報熱家がたくさんいるものだと感心もし、勇気づけられました。被災地の坂下さんは、「全国に仲間がいる!」という会場からのエールに、「もう一度やってみよう」と。ジーンときました。
(村田徳治)

● はじめて違う参加者でも親近感があり、不思議。「みんな思い」が同じだから。訪れた被災地は、高台で無傷の家と、逆に跡形もない屋敷跡の明暗は複雑、切ない思いだった。(今村純子)

～は、内陸部は黄金のゼータン～



南三陸防災センターの
屋上のアンテナにしがみついて
助かた人も、横を人が流れて...

～これからもつづく「人と」
＝3月11日以降 私たちは



＝「おれはフェイスブック」
左よりフェイス 肥土賢美男さん、
(石巻市、民権のんびり村長)、大石伸治

「南三陸の海は波静かでしたが、
どこか淋しげに....」



↑ 屋上の逃げて、お孫さんとおはあやの
助かた家。並行の家は全て津波に...

食べて飲んでつながりの大交流会



第10回全国まちづくり交流会
宮城・大崎・鳴子温泉



↑ かがり火の全国支局長たち



～真顔で、何を話し
「かがり火」の菅原敏一

ひとこと

● 10回目を迎える全国まちづくり交流会に初参戦。苦しむ東北地方の人々に接し、遠州地方の恵まれた生活環境を再認識した旅でした。「地域づくりとは？」を語れる幸せに感謝です。
(大橋功夫)

● 元気になつてもらおうと訪れた南三陸の地。ビル以上の高さの波をかぶった被災地の現実を見て思わず涙がこぼれたが、がんばる人達の姿を見て、いつの間にか私たちが元気づけられました。
(村松達雄)

● 地震・雷・・・ 東日本大震災が起きた日から、地震恐怖症になりました。毎日のように被災の様子がテレビ放送され、あの時の映像を頭に重ね合わせながら南三陸町に行かせて頂きました。
(尾上美智子)

● 被災地を見て地震エネルギーの巨大さに度肝を抜かれました。東海地震・東南海地震が想定されている地域に住む者として常に備えておかなくてはと強く思われました。
(服部守孝)

● 南三陸町の震災現場を見て、改めて復興にはまだまだ時間がかかることを実感いたしました。自分に応援出来ることから行動する「南部煎餅と海藻」を売り始めました。
(榊原淑友)

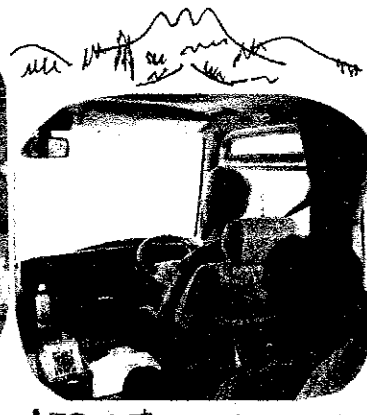
● 今回の主催者である東鳴子温泉の大沼さんと意気投合し、改めて出向き、温泉地活性化について、知り合いの山形県上山市、岩手県一関市、宮城県登米市のイケテル自治体職員を東鳴子の地に集め勉強会を開く約束をしてきました。お楽しみは続く。
(溝口 久)



「うまいな〜」と前夜祭の芋煮鍋。



「こち 向かいだね。私、タイイット
中なの。後ろではオチニサン〜」



「この車、ブレーキはどこと？」
と正さん。「ブレーキ、もん
な〜」とこ〜同様。



スナック写真館



朝明り?のおふたりさん。高友旅館
は明治生まれの老舗。迷った。

ありがとうセンセ〜



さあがから便所先住。
村田生徒は雪隠い?



お肌ツルツル。
黒湯「よかった。」

「論島の明美さん。
うちの明美さんとは、
たいぶ違いはな。
「再来年は私の所へ。
来てね」だて。



「夜なべ談義。かかり菅原さんの
部屋。あしやべりも弾んで〜」



「まあ赤はお顔の...なに撮ってるの?
「ハウさんやれやれ」と乗せられて
阿波踊り。舞台の上まで行っちゃった。

楽しきかなハジニング。台風に向かって走っちゃった!

「30日夕方 遠州地方に台風上陸」の予報。大変だ。台風が来る前に帰ろう!
交流会の始めの方で、次回開催地のあいつをさせていただいて、深夜1時に帰路へ。
午前9時ごろ 静風は晴れて〜。「あ、海老名のXロンパン売場に財布と免許証忘れた〜」。
新東名静岡ICでUターン。あつあつ。良かった。走れ走れめだか号。44444...
いや〜静岡 遠州地方はドジャスリ。台風に向かって走っちゃいました。

